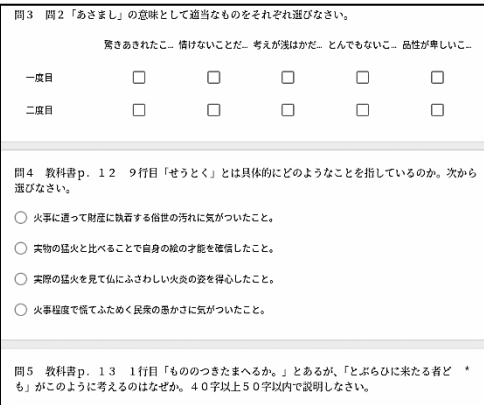
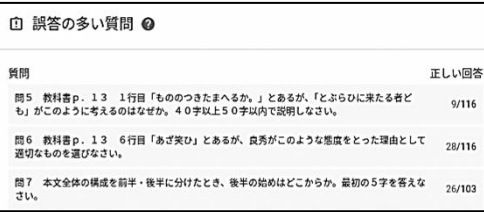


## 1人1台端末の活用による実践事例

学校名	岡山県立倉敷南高等学校		
実践者等	小林晃佑里	実践日	毎授業後
実践場面 (教科・科目、学校行事等)	国語総合 古文		
対象生徒 (学年等)	1年次		
単元名 (教科・科目の場合のみ)	週二時間の古文の毎授業後に配信		
使用したアプリ等	Classroom、Forms		
実践の概要 (ねらい等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の授業内容の理解の促進、家庭学習の定着、学びの蓄積</li> <li>小テスト準備の教員負担の軽減 (Forms)</li> </ul>		
<b>実践の内容</b>			
<p><b>【概要】</b></p> <p>Forms で作成した小テストを Classroom の「課題」の機能を活用して配信している。2日後を提出期限に設定。作成時間は約20分。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>内容は語彙、文法、口語訳、内容読解等の10問程度。選択肢形式や記述形式など問題の主旨に合わせて作成している。生徒の取り組み時間は5分～20分程度。</li> <li>ロックモードでの実施になるが、教科書やノートを確認しながら取り組んでもよい。課題提出後には、著しく理解が不十分な生徒については Classroom の限定コメントで声掛けを行っている。</li> <li>生徒は自身の解答とスコア、正答例を何度でも確認できる。生徒の申し出に応じて解答をリセットして再び取り組むことができるようにしている。</li> </ul> <p><b>【成果】</b></p> <p>○Forms が蓄積していくため、自身の端末でいつでも復習することができ、基本事項の理解の一助となっている。</p> <p>○送信時間を確認し、深夜に送信してくるなど好ましくない生活習慣となっている生徒に対して声掛けを行うことができる。</p> <p>○紙面の印刷や回収して採点などをする必要がないため、教師の負担の軽減につながっている。削減した時間を生徒へ対応する時間に充てることができる。</p> <p>○記述問題については教師が採点を行っているが、活字は手書きより字の判別が容易となるため、内容に注視して評価を行うことができる。また、解答例に近い解答から順に表示されるため、採点のプレを小さくすることができる。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>△提出率は75%程度で、他の課題に比べて提出率が悪い。家で Chromebook を開く習慣がないのではないかと思われる。全く取り組まない生徒も一定数いる。Chromebook の家庭での活用も他教科と連携して行っていく必要があると考える。</p>	 <p style="text-align: center;"><b>画像1 テストの問題例</b></p>  <p style="text-align: center;"><b>画像2 「誤答の多い質問」の表示</b></p>		
参考となるHP等			